



広 報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp/>

平成15年

JAN
1 月

No. 471



赤石澤正幸さん(外内)が 県鉢花品評会で銅賞に入賞

▲赤石澤正幸さん(左)と
奥さんの美和さん

赤石澤正幸さん(飯樋外内)が、12月に行われた県の鉢花品評会にサイネリアを出品し、見事銅賞に入賞しました。赤石澤さんは、県内の鉢花生産者が出展するこの品評会で2年前に銀賞、昨年は銅賞と今回を含め3年連続で入賞を果たしています。赤石澤さんは「今度はシクラメンの部で入賞したい。これからも上位の賞に入れるような鉢花を作っていきたい」と目標を話していました。

赤石澤さんの12月のハウスには、年末に向け最後の出荷を待つシクラメンが、白や赤など色とりどりの花を咲かせていました。

やちうちと
活力あふれる
りわーティー・ライフ
いいたて

新春のごあいさつ

飯館村長 菅野典雄



あけましておめでとう
ございます。
村民の皆様にはご家族
お揃いで健やかに新年を
お迎えのこととお慶び申
上げます。

早いもので、希望に胸ふくらませた21世紀も、早や
3年目を迎えることになりました。
時代は高度成長時代から成熟社会へと大きく変わり、
あらゆる点で見直しの時代に入っているようです。そ
のような時代だからこそ、しっかりと時代を読み、わ
がふるさと飯館村の進路を、誤りなきようにしなければ
ばと年頭にあたり心に誓ったところです。

その一つに平成17年度からスタートする村の総合計
画の理念に「スローライフ」を掲げさせていただきま
した。この厳しい時代に「何がスローなのか」と疑問
を呈する村民も多いようですが、これまでの「スピー
ドは善」「スローは悪」という考えから「スピードも
善、しかしスローも善のときがある」という考え方に
頭を切り替えてみてはいかがでしょうかという内容で
す。

そう考えますと、これまで以上に「ふるさと」や
「自分のくらし」あるいは「人と人とのふれあい」な
ど多くのことに豊かさが感じ取れることになるのでは
ないでしょうか。

このように、21世紀は「白か黒か」の二者択一では
なく、何事も「バランス」が大切になってきます。そ

う言われれば言われるほど、そのバランスをどこに保
つかという「重い責任」が出てきます。

2つ目は市町村合併問題であります。村にとって対
応を絶対に誤ってはいけない重要案件です。わが村は、
これまで皆様の努力によって、地区別計画などに他に類
をみない「自主自立の運動」を展開してきました。さ
らに、合併問題についても他市町村に先がけて情報公
開を旨としてきたところです。したがってその動きを
糧とすれば、必ずや道は開けるものと信じています。
今後さらに村民、そして議会と協議を重ね、村民の将
来の幸せを最優先に考えていくつもりです。

今年飯館小学校の改築や、いいいてホームの増床、
さらには笠石地区の住宅建設など大型のハード事業が
目白押しです。一方、ソフト事業の方も、これまで進
めてきた飯館らしいオンリーワンの事業を、さらに内
容を充実しながら、平成15年度からスタートする0歳
児からの保育や、「陽だまりの家」を中心としたシル
バー人材センター活動など、新しい事業に積極的に取
り組む予定です。

さらに地区別計画も9年目に入る重要な年でもあり
ます。いずれも村民の皆様の一人心とりの「自分が主
役」という「協働の心」がなければ一歩も進まないこ
とばかりですのでよろしく願っています。

村長として、力のあらん限り、飯館村のさらに良い
村づくりに向かって情熱を傾ける覚悟です。

今年1年、皆様のご家庭に幸せが訪れ、健康で過ご
されるよう心より祈りいたしまして、新年のごあい
さつといたします。

新春のごあいさつ

飯館村議会議員

横山正秀



新年あけましておめで
とうございます。

村民の皆様には200
3年の新春をお元気で
迎えることとお喜び申
上げます。

昨年は小泉改革も経済政策面での成果が見られず、
企業の倒産、リストラ、雇用賃金等の引き下げによる
所得減による消費の落ち込み等、日本経済は低迷し、
飯館村も厳しい状況でした。ですが、農産物の販売で
は、葉たばこの売上が減少したものの、野菜、花き類
は前年比1、300万円の増となり、産米では生産高・
販売高ともに平年を上回り、畜産もBSEの風評を吹
き飛ばし、高値販売が続いていることは村にとつての
明るい話題であります。

さて、新年を迎え、今年を展望する時、村も日本も
国内外に大きな課題を抱えております。

外交では、北朝鮮の核開発の再開は大変な事態であ
り、拉致問題等日朝国交正常化は早急なる解決策が必
要とされ、国政では、生活・文化の交流に重要な高速・
高規格道路等の改善、民営化構想による工事の進歩の遅
れが懸念されています。

村においては、自主財源の少ない所に交付税減が見
込まれ、一段と厳しい財政運営を迫られることが確実
であります。合併問題でも、合併しない小規模自治体
の権限の縮小をするという国の考えは、地方行政の切
捨てに他ならないことは明白であり、大変な事態が予

想されます。村は合併について賛成か反対か決断をし
なければならぬ時期が来ます。

合併反対とするには、小さな村として自立できる環
境と、村民の強い意志が必要です。合併賛成となれば、
新しい市の中心地から遠くなるため、周辺地区の生活
基盤整備を明確にし、公平かつ平等なる地域づくりの
あらゆる政策の条件等が確約されなければなりません。
合併問題の最終決断は住民参加で議論を深め、10年、
20年先を見据え、村民の声をもとに議会として判断し
たいと考えます。

村議会も住民の代表として行政の監視と政策の提言
をしながら、議会改革の取り組みとして、日曜祭日議
会に代わるテレビによる議会中継、予算・決算審議の
見直し、ITの学習、議員定数削減等を計画しており
ます。また、提言として村民の所得向上対策を掲げ、
農産物の生産基盤の整備及び販売拡大等の支援策、雇
用促進を目指す企業支援策、商工者の経営強化支援、
このほか少子化対策、子供達の健全育成と学力向上対
策、高齢者、障害者の介護福祉の充実等を提唱して参
ります。

飯館村は自然の豊かな農村であります。立地条件を
生かしながら、村民の英知を集結すれば、都市部には
ない美しい環境、広い空間にさらに磨きをかけ、住む
ことに誇りを持てる素晴らしい地域づくりができること
を確信しております。今後も村の発展のために取り組む
べき課題を絶えず確認しながら、その解決に向け活発
な議会活動に努めることをお約束するとともに、皆様
のご健康とご多幸を祈念申し上げまして、新年のごあ
いさつといたします。